

みどり5つのゼロ宣言・SDGs 未来都市実現に向けた取組
公共施設に再生可能エネルギー100%電力を導入

みどり市は、県内自治体で初めて電力調達プラットフォーム「エネオク」を活用し、公共施設に再生可能エネルギー100%電力を導入します。

市が掲げる「みどり5つのゼロ宣言」やSDGs 未来都市の実現に向け、率先して再生可能エネルギーを導入することで、温室効果ガス排出量削減と電力コストの抑制を同時に実現します。

今後は他の公共施設への導入も進め、さらなる脱炭素化の推進を目指します。



■ 対象施設

高圧電気契約を締結している公共施設 38 施設 ※対象施設の詳細は別紙のとおり

■ 契約期間

令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

■ 導入効果

- ・ 上記対象施設で排出される温室効果ガス 2,127t-CO2削減(基準年度比74.1%削減)
- ・ 電気使用料金(東京電力の標準プラン比) 約7,600万円削減(約33.1%削減)
※R6.12~R7.11月の使用実績を基に算定

■ 「エネオク」とは

- ・ 株式会社エナードが提供する国内唯一の競り下げ方式(リバースオークション)による電力リバースオークションサービス。
- ・ 本方式は、環境省も地球温暖化対策実行計画における再エネ電力の調達手法として推奨しており、環境省や国土交通省でも採用されています。

問い合わせ

みどり市 市民部 SDGs推進課

TEL 0277-76-0985

Email sdgs-suishin@city.midori.gunma.jp

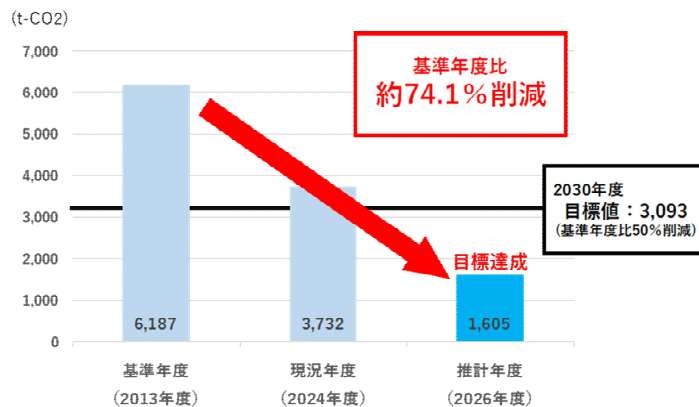


対象施設 38 施設

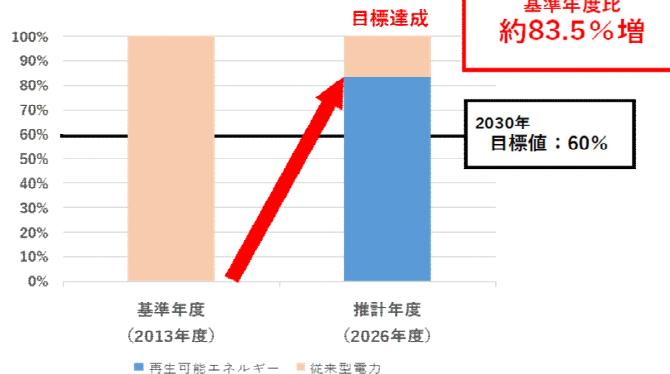
笠懸庁舎、大間々庁舎、東支所、教育庁舎、市有太陽光発電施設 3 施設（久宮・塩原・鹿）、国民健康保険診療所・笠懸保健センター、大間々保健センター、桐生大学グリーンアリーナ、西鹿田グラウンド、桐原グラウンド、東運動公園、東運動公園社会体育館、農林業センター、ながめ余興場、福岡中央集落排水センター、大間々学校給食センター、市内小・中・義務教育学校 12 校、多世代交流館、童謡ふるさと館、厚生会館、笠懸図書館、大間々図書館、笠懸野文化ホール、岩宿博物館、富弘美術館

導入効果詳細

【CO2 排出量】



【再生可能エネルギー比率】



【コスト】

